



2024

1

Vol. 66

社会福祉法人すこやか福祉会

発行日: 2024 年 1 月 1 日 第 66 号

本部事務局 住所: 〒120-0023

東京都足立区千住曙町 4-16

TEL: 03-5813-9251

住みなれたまちで



謹賀新年



新しい年のご挨拶をさしあげます

110114

お正月らしく明るなお話をご考えましたが、そうもいかない情勢です。本年こそは、経営危機を挽回する年にしなければなりません。私たちはまず、利用者の方々、地域社会で働き暮らす皆さんとしっかり対話して、暮らして要望にマッチした事業の在り方をつかまねばなりません。今年行われる介護・障害・医療の同時報酬改定の内容を研究し、よくない点には反対し、活用できる点はしっかりと事業に取り込む必要もあります。

大事なのはこの順番です。国の政策に従いさえすれば経営状態が改善するわけではありません。ましてや、納得できる仕事ができる保証はありません。

介護や保育、学童保育の事業は医療と並んで、みんなが安心して希望をもって暮らし、思いきって働ける社会の基礎を支えています。誇りを持って働くためには、利用者や地域の方々に支持される事業の方向性や仕事の質を磨くと同時に、それにふさわしい労働条件を実現する必要があります。

しかし社会福祉や医療の分野の経営は苦境にあります。いくつかの産業で大企業を中心に賃上げの動きがある中で、私たちはそれに追いつけていません。

職員の皆さんが熱意と献身性をもち、それを裏付ける専門性、高い技術を身に付けるために研鑽、奮闘されていることは、私の誇りです。ところで、「熱意と献身性を頼りにするべきではない、普通に働いて成り立つようにするのが経営の役割だ」という意見を業界の中の人から耳にすることもあります。ほんとうにそうでしょうか？

日本社会では、普通に働いて暮らすことが難しい人が少なくありません。目下の賃上げは人手不足の中での競争の現れでもあり、潰れる企業、失業する人々も出てきます。庶民の暮らしが苦しいときに、社会福祉や医療、ましてや民医連に加盟する事業所が「普通に働いて成り立つ」経営を可能にするのは簡単な目標ではないと、私は考えます。

昨年は、ウクライナ・ロシアに加えて、パレスチナ・イスラエルの戦争も激化し、多くの犠牲者が出たことを止められない国際政治の在り方が問われています。国内でも、格差拡大と増税、物価高による生活苦を反映して岸田内閣の支持率が低下しました。そのさなかに政治資金をめぐる犯罪が露呈し、政治への信頼はますます失われています。支配層もまた苦境にあるのは間違いありません。

仕事の質と経営の力量を高めながら、社会の仕組みをただす運動に取り組むことで、この危機を突破していきましよう。

職員の皆さん、利用者ご家族、共同組織の皆さん、地域社会とともに支える事業者や行政の皆さん、思いと知恵と力を合わせていただけますよう、お願いいたします。

社会福祉法人すこやか福祉会 理事長 藤井 博之



介護・保育事業部より新年のご挨拶



統括マネジャー
天野 義久



新年あけましておめでとうございます。

昨年は約3年半に渡りたかってきた新型コロナウイルス感染症が5類となりました。そのことにより元に戻りつつあること、まだ元には戻せないこと、コロナを経験したことによる新たな生活スタイルの継続など、環境の変化に対応しつつ、さまざまな方にご協力・ご理解を得ながら事業運営を進めて来ました。

そして、昨年 11 月には東京さくら福祉会との法人合同を行い、事業所数が増えると共に力強い仲間も合流しました。法人の組織体制も同時に再編し、新たな一步を踏み出したところになります。

今年は診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬のトリプル改定の年となります。その中身も少しずつ見えてきており早期準備に取り掛かる必要があります。合わせてコロナで離れていた地域交流の実施やニーズの再把握。事業継続計画(BCP)に基づいた研修や感染症・自然災害訓練の実施と計画。人材確保と育成、職員が元気に働き続けられる職場作り。そして経営改善はまったなしの最重要課題です。

やることは盛りだくさんですが現状維持は後退しているのと同じと教えられておりますので、全職員一丸となって法人理念と経営の両立を実践していきたいと思ひます。

進化し続けるすこやか福祉会、今年もどうぞよろしくお願いいたします。



保育事業部部長
松岡 愛子



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、コロナも 5 類とされマスク生活も緩和される中、職員を始めとして子ども・保護者も不安がありながらですが、顔と顔を向き合せて話ができる、行事の参加の呼びかけをどのようにしていこうかと、胸を弾ませてのスタートでした。そんな中マスクが緩和されたこともあるのか、職員も含めコロナ以外の感染症に振り回された施設もあり施設同士の連携の大切さも知った年になりました。

昨今、保育園では 0 歳児の定員割れ、学童では多数の待機児童が騒がれています。金町地区においても 50 名の待機児。「子どもに安心できる場所を！」の保護者の声が届き、葛飾区の力添えもあり金町地区に新たにカナリア学童が 2 月スタートします。

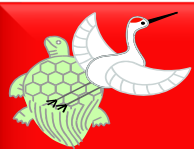
新年度には、保育園 3 園・学童 5 施設、合わせて 8 施設の保育事業部運営になります。

その中保育事業部は次世代に継ぐ転換期を迎えています。

ころろざしは皆同じ、保護者・子ども・職員が心穏やかに安心・安全な居場所を今年も目指していきたいと思ひます。

今年もどうぞ宜しくお願い致します。





ご長寿 おめでとうございます

すこやか福祉会を利用されている、ご長寿の利用者さまを
ご紹介させていただきます。

※年齢は 2024 年 1 月 1 日現在です

以下内容にてお話を伺いました。

- ① 趣味・好きな食べ物
- ② 長寿の秘訣

103 歳

特別養護老人ホーム
葛飾やすらぎの郷
熊木 ハツイ 様

- ① 新潟の美味しいお米、
キュウリの漬物、味噌汁
- ② 頑張って働くこと



106 歳

特別養護老人ホーム
葛飾やすらぎの郷
石持 とめ 様

- ① 饅頭
- ② 苦労しないこと



103 歳

デイサービスセンターみたて
石渡 芳穂 様

- ① 甘い物、天ぷら
- ② 兵隊に行っていたから、元
気



102 歳

デイサービスセンターさくら草
金子 かほる 様

- ① 何でも好き、よく食べる
- ② くよくよしない、ぐちを言わな
い、笑顔をたやさない



102 歳

グループホーム青戸
深山 静子 様

- ① 何でも好き
- ② 好き嫌いをしない



102 歳

グループホーム福さん家
海保 とし 様

- ① んなもんねえ
- ② 湧き出る食欲と、やきも
ちをやく心



100 歳

特別養護老人ホーム
葛飾やすらぎの郷
中村 元子 様

- ① 和菓子、甘いもの、柿の種
- ② よく歩く、旅行(全国制覇)



100 歳

デイサービスよりみち
手塚 文枝 様

- ① お肉など洋食
- ② のんびりと好きなことを楽し
む



100 歳

グループホーム青戸
小野里 しん 様

- ① 魚 肉 海藻 野菜など、
何でも好き
- ② 人には優しく。食べ物は好き嫌いなく食べる。



100 歳

デイサービスセンターさくら草
中込 セツ 様

- ① 何でも食べられます！
好き嫌いないの！
- ② たくさん食べる事！好き
嫌いなく全部食べる事

**100 歳**

特別養護老人ホーム
葛飾やすらぎの郷
江川 いえ 様

- ① 日本酒
- ② アルコール消毒

**99 歳**

グループホーム
すこやかの家 業平
松木 節子 様

- ① なんでも好き
- ② 好きな事をし続ける事！
田舎暮らし。植木。野球観戦。読売新聞を読む

**99 歳**

デイサービスセンターすこやか
杉本 フク 様

- ① お刺身、天ぷら、煮物、
他なんでも
- ② なんにもないよ、趣味は縫い物

**99 歳**

特別養護老人ホーム
葛飾やすらぎの郷
戸沼 和子 様

- ① お煎餅、イタリアン
- ② わがままを言うこと

**98 歳**

特別養護老人ホーム
葛飾やすらぎの郷
倉持 たか 様

- ① なんでもよく食べる、好き
嫌いなし
- ② 散歩をよくすること

**98 歳**

デイサービスよりみち
石川 理子 様

- ① 鮭、りんご
- ② ゆっくり暮らして、くよくよし
ないこと

**98 歳**

特別養護老人ホーム
葛飾やすらぎの郷
高添 富貴恵 様

- ① ケーキ
- ② 男の人に優しくしてもらうこと

**98 歳**

デイサービスセンターさくら草
中山 チカ 様

- ① 何でも食べるわよ、戦争中に
育ったから何でも食べるの
- ② 歩く事！朝公園へ行行ってラジオ体操
自分でできることは何でもやる！100 歳までさくら
草に通う！

**98 歳**

グループホーム青戸
杉山 とし子 様

- ① 温かい天ぷらそば 焼
き芋、おいなりさん
- ② 好き嫌いなく食べる事



2024年4月新卒 介護・事務職員合同 内定式 & 内定者の集い

協議会ケアワーカー魅力発信委員会(CMH)主催で、『2024 年度新卒介護・事務職内定式 & 内定者の集い』を10月28日に実施しました。内定承諾者7名(10/28現在)のうち、5名の参加でした。

まずは『内定式』を挙行。健和会柳原リハビリテーション病院 大谷事務長や、すこやか福祉会 天野統括マネージャーからの祝辞と、内定証書の授与式を行いました。

内定者の皆さんに職員一同から新たな門出のお祝いと激励の言葉を送り、皆さんの志を新たにさせていただきました。



内定式 祝辞



内定者の集い
ハイタッチで歓迎

緊張の「内定式」の後は、場所を移し「内定者の集い」です。先輩職員がハイタッチで迎え入れ、お互いの自己紹介をしました。

アイスブレイクの後、先輩職員と内定者でチームに分かれ、「モルック」に取り組みました。

「モルック」とは、フィンランドで生まれた、木製のピンをモルックと呼ばれる棒を投げて倒し、点数を競い合うゲームです。



モルック



交流会のあと先輩職員と一緒に

2024 新卒 介護 事務 内定 式



内定者の皆さん

運動神経に加えて、チームワークが必要とされます。みなさん初めての体験だったようですが、楽しんでいただきました。皆さんの結束力でこれからの介護を担っていただけることでしょう。

ゲームの後は軽食をとりながら、先輩職員と懇談会をしました。

最後は先輩職員と内定者でチームに分かれ、「新聞ちぎりゲーム」に取り組みました。

これは新聞をチームでちぎって、制限時間内で、その長さを競うゲームです。高齢者レクリエーションでも使われ、簡単ながら、とても楽しめます。

ここで見ていただいた集中力と工夫する力、そしてチームワークを介護現場でも発揮してください。

参加した内定者の皆さまからは「緊張したがとてもリラックスできた」、「内定者同士楽しく過ごせた、先輩の話が聞けてとても良い機会になった」、「入社にあたって充実した時間になった」との感想をいただきました。

新たに入った仲間と共にすこやか福祉会の介護の魅力さをさらに掘り下げ、発信していきます！

本部人財採用・教育・広報室 川尻 佳司

すこやか福祉会を支援する会 主催

第 12 回すこやか作品展

【個人・団体部門】
優秀賞・特別賞発表！団体：『クジラ』
新宿在宅サービスセンター団体：『夏の思い出』
デイサービスセンターみたて個人：『夏の葉っぱが光つて
る』
グループホームかなまち団体：『鯉のぼり』
グループホームみたて個人：『布押絵 勢揃い』
デイサービスセンターすこやか
金 多永子 様団体：『ふるさとの秋の風景』
デイサービスセンターすこやか個人：『小鳥バッグ』
ファミリーケア大島
山本 多身子 様個人：『貼り絵』
デイサービスセンター采女の里
二階堂 カツ枝 様特別賞：『平和の花火』
金町学童保育クラブ
在籍児童 86 名+職員 8 名様特別賞：『おおぜ 2023 平和へのメッセージ』
八潮市立おおぜ学童保育所
子どもたち

第20回 東都協議会 介護活動交流集会



2023 年 11 月 11 日（土）、介護の日に記念すべき第 20 回東都協議会介護活動交流集会が開催されました。今回の事例テーマは、介護職の永遠のテーマの 1 つでもある「認知症利用者を対象とした対応、取り組み」とし、スローガンに【いつまでも「あなたのままで」を支えていきたい】とつけました。今回から 2023 年 11 月に法人合同となった旧東京さくら福祉会が新たに加わり、参加事業所が増えたことで予選会のブロックも 9 つに増え、予選からこれまで以上の盛り上がりを見せました。

本選当日は記念講演に、「認知症」をテーマにした研修等でご活躍されている有限会社心のひろば代表の井上信太郎さんお越しいただき、貴重なお話と事例発表について事業所ごと総評を頂きました。多くの参加者から「もっとお話を聞きたかったと…」と惜しむ声が聞かれました。



講演する井上信太郎さん



トロフィー授与



最優秀事例

新人奮闘記
～私が初めて認知症利用者と出会った日～

小規模多機能サービス 馬渡さん家
竹村祐樹

今回の最優秀事例の選考はどの事例も素晴らしかった為、選考投票は拮抗しました。その中で最優秀に選ばれた事例は、小規模多機能サービス馬渡さん家 竹村さんが発表した「新人奮闘記～私が初めて認知症利用者と出会った日～」でした。

新人職員が介護の社会に飛び込んで受けた驚きと、先輩職員の認知症支援から学んだことについて、堂々と発表していました。昨年に続き、新人職員の事例が最優秀に選ばれたことは、人材不足が叫ばれる今社会の中で、協議会にとって未来への明るい光と言えそうです。

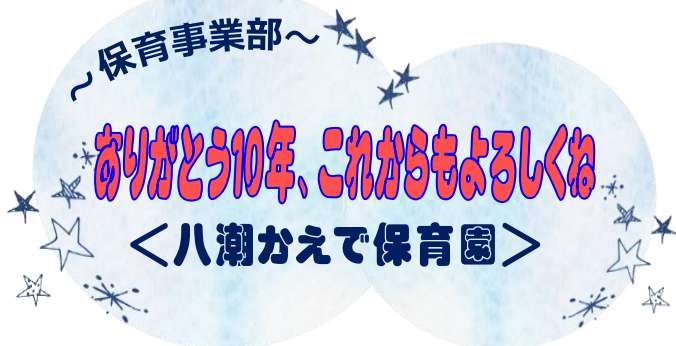
大会自体が 20 回を迎えたこともあり、事例発表のクオリティが年々上がってきていることを実感しています。特に、コロナ禍を経てオンラインを活用するようになってからは、協調して伝えたい部分は字を大きくしたり、色を変えたり、利用者の表情のみえる写真や、オリジナルのイラストを入れるなど、パワーポイントの「見せる」質がどの事業所も格段に良くなってきています。

来年はどんな事例が集まってくるか、今から楽しみで仕方ありません。そして、実行委員は素晴らしい実践を協議会の中だけでなく、社会に発信していけるような仕組みを考えていきたいと思っています。

東部エリアマネジャー 中野 一仁



講師・発表者・実行委員・参加者で記念撮影



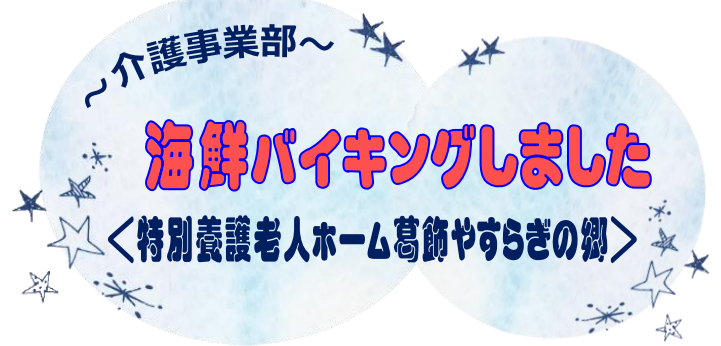
10 周年式典にて 職員チームによる太鼓演

八潮かえで保育園は満 10 歳となりました。開園当初、保育園周辺は空き地が多く。駅前もちょっと寂しい感じだったのを思い出します。八潮駅前にある公園も工事中で、遊具もなく、芝生が広がるだけの広場でした。

開園当初から変わらないのはかえでの子どもたち。雨上がりの水たまりを見つけては、びちゃびちゃと全身でドロンコ遊びを楽しみ、園庭の隅っこではダンゴムシ探しが始まり、カップいっぱいダンゴムシを集めて、うれしそうな顔で得意げに見せてくれる子どもたちの輝く目は 10 年前と変わっていません。開園 1 年目の卒園児は 3 名でした。現在、高校 1 年生になっています。きつといろいろな場面で活躍していることと思います。かえでを卒園していった子どもたちが大きくなった時に、少しでもドロンコ遊びのことや、保護者には『洗濯たいへんだったわ～』と思い出してくれるといいなと思います。

11 月 17 日(土)10 周年記念式典を行いました。5 歳児の太鼓演奏から始まり、和太鼓倶楽部 源流の力強いお祝い太鼓を演奏して頂きました。それから職員でも太鼓やってみよう！となり、有志でチームを作り、コツコツ練習を重ね、かえで職員チームによる太鼓も演奏しました。また、次の 10 年目指し、これからも八潮かえで保育園は地域に根ざした保育園となるよう突き進んでいきたいと思っています。

園長 石井 良子



今年も海鮮バイキングが行われました！前日には、フロアに掲示されたポスターを見て、「楽しみだなあ」

「何のお刺身が出るのかな」といった声が聞こえていました。

お刺身の種類は、穴子、サーモン、甘海老、ホタテ、鰯、鯛の 6 種類です。そこから好きな 3 種類を選んでいただきました。希望を聞いた際、選びきれなかったのか、どのお刺身を指さしても頷いてしまう方もいらっしゃいました(笑) 去年は、選択肢の中にマグロが入っていたのですが大人気だったので、職員で話し合いマグロ、さらにイクラ、カニほぐし、しらす、卵焼きをあらかじめ丼に盛り付ける事に。そこへ選んだお刺身をのせ、昨年より豪華な海鮮丼になりました！

出来上がった丼を見た時、「食べられるのか…!?!」と思ってしまうほど豪華でしたが、皆様あつ

という間に完食。おいしかった～♪」と沢山の笑顔が見られました。

当日はフロア職員だけでなく、ケアマネ、看護師、相談員、栄養課の方々も協力して下さり、職員全員でイベントを盛り上げました！多くの職員が参加したおかげで、ご利用者一人一人の希望に合わせた海鮮丼を提供することができました。

沢山の笑顔あふれる海鮮バイキングになり、無事に開催出来て良かったなと思いました！



3 丁目生活援助員 濱 綺良莉